



インターネットでの情報提供

提供予定日 5月31日

平成23年5月30日(月) 県政記者クラブ配布資料			
所管課	担当	担当者	電話番号
商工労働部商工政策課	政策企画担当	都竹 淳也	直通 058-272-8350 内線 3042

岐阜県とイオンとの連携による 第2回東北物産展「がんばろう東北！」及び 宮城県観光展の開催について

岐阜県とイオン株式会社は、包括提携協定に基づき、東日本大震災で被害を受けた東北各県の県産品を販売する「東北物産展」を、下記のとおり開催します。

これは、平成23年4月28日から5月1日にかけてイオン大垣店において開催した第1回目となる「東北物産展」が大変好評であったことから、規模を拡大して開催するものです。

本催事では、イオンのバイヤーが調達した東北各県の食品が販売されるほか、新たな取り組みとして、県が職員派遣を行っている宮城県と連携し、宮城県の観光ポスターの掲出やパンフレットの配付、PRグッズの配付などを行う「宮城県観光展」を実施します。地方自治体が被災地支援のため、被災自治体の観光展を開催するのは全国的にも珍しい取り組みです。

記

1 第2回「東北物産展」の概要について

(1) 日時・場所

平成23年6月2日(木)～6月5日(日)

イオン各務原ショッピングセンター イオン各務原店1階食品売場内
(各務原市那加萱場町3-8)

平成23年6月9日(木)～6月12日(日)

イオン大垣ショッピングセンター イオン大垣店1階食品売場内
(大垣市外野2丁目100番地)

(2) 販売される商品

(岩手県)盛岡冷麺、岩手県産ひとめぼれ、生南部サブレ、じゃじゃ麺、南部霧そばなど

(宮城県)笹かまぼこ、牛タン詰め合わせ、仙台みそ、日本酒「蔵王」など

(福島県)日本酒「会津ほまれ」、福島県産こしひかり、喜多方ラーメンなど

(青森県)ねぶたアップルジュース、上北スタミナ源たれなど

このほか、東北の海産物や加工食品等(仙台油麩、玉こんにゃく、揚げかまぼこ、漬物、佃煮、昆布、山栗、桑茶など)も販売

(3) 本催事の目的

被災地の復興を支援するためには、全国の消費者が被災地の商品を購入することにより、被災地全体の所得を増やし、経済を支えていくことが必要であるという観点から、全国的な流通網を持つイオンと県が連携し、県民の皆様はその機会を提供する目的で実施するもの。

2 宮城県観光展について

会場売り場の一角に特設コーナーを設け、下記内容による「宮城県観光展」を開催します。

- ・宮城県より提供された観光ポスターの掲出
- ・宮城県全県の観光パンフレットやマップ、「みやぎの観光復興情報」「松島観光復興情報」等の配付
- ・「仙台七夕まつり」飾りの展示など

この観光展は、本県が宮城県に対し職員派遣の支援を行っていることから、現地への派遣職員が宮城県庁と連絡調整を行い、岐阜県が主催する形で実施するものです。

3 東北物産展における取り組みについて

(1) 東日本応援メッセージボードの設置

各務原・大垣両店舗において東北物産展売り場周辺に、来店された方から、被災地への応援メッセージカードを記載いただけるボードを設置いたします。本ボードは、物産展期間中設置し、いただいたメッセージは、県から宮城県多賀城市に派遣している応援職員を通じて現地に持参し、同市の避難所等に掲示します。



多賀城市現地避難所に掲示された様子

(2) 知事による物産展会場におけるPR活動の実施

下記により、古田知事が会場を視察するとともに、宮城県観光PRノベルティグッズを来場者に配付するなどのPR活動を行います。

(日時) 平成23年6月4日(土) 15時00分～15時30分頃

(場所) イオン各務原店(各務原市那加萱場町3-8)

(内容) 宮城県観光PRキャラクター「むすび丸」ボールペン(右写真)を先着200名に配付。(15時より配付)



3 第1回「東北物産展」結果について

(1) 期間：平成23年4月28日(木)～5月1日(日)

(2) 場所：イオン大垣ショッピングセンター

(3) 商品：加工食品、酒等 65品

(4) 取り組み

FC岐阜による「震災復興支援特別招待券」のプレゼント

東日本応援メッセージボードの設置

県職員が多賀城市にメッセージを持参

物産展会場における知事によるPR活動

(5) 売上等

- ・総売り上げは当初の想定の4倍
- ・岩手県産米、牛タン、南部煎餅などの商品が人気



4 イオンと岐阜県との連携について

(1) 包括提携協定の締結

県内の商業・観光振興を始め、県産農畜産物の販売促進、防災、福祉、教育など、様々な分野において、地域活性化と県民サービス向上に協働して取り組むため、平成22年11月4日に包括提携協定を締結。

イオン(株)と都道府県が包括提携協定を締結するのは、大阪府、山形県、三重県、宮城県に続き全国5例目(本県締結時)。

(2) 主な連携事業の実績

「ぎふ すまいるWAON」カードの発行

全国で利用可能な電子マネー「ぎふ すまいるWAON」カードを、平成22年12月より発行。利用金額の0.1%が毎年岐阜県に寄付され、福祉関係事業に充当(当面は、特別支援学校スクールバス運行経費に充当予定)。福祉への寄附を目的とした地域WAONは全国初。

今年2月14日には、地域の商店街等におけるWAONカードの活用事例などを紹介する電子マネー普及セミナーを開催。

地産地消フェア等の協働実施

地産地消を進めるため、季節ごとに県内各店舗において、地産地消フェアを実施。フェアを実施する際に、イオンの持つ媒体を活用して旬な農産物情報などを広く提供。

- ・第1回目は、各務原店において、協定締結イベントとして実施。
- ・第2回目は、平成22年11月20日に大垣店で実施。
- ・第3回目は、平成23年2月25日～27日まで木曽川店で実施。

イオンのSC出店食品・飲食テナントとのマッチング商談会開催

- ・イオンのバイヤーと産地をマッチングする商談会を平成22年度に2回実施。

観光キャンペーンとのタイアップ企画実施

- ・協定締結に先駆けて、「ぎふを味わおうキャンペーン」(於：東京・青山)に関して、平成22年10月11日～11月3日まで都内6店舗にてポスター掲示及び冊子配布。
- ・「ぎふを味わおうキャンペーン」(於：名古屋・栄)に関して、平成22年11月16日～12月6日まで、愛知県内17店舗にて、ポスター掲示及び冊子配布。

「岐阜県からのお知らせ」ボードの設置

- ・平成22年12月から、県内イオン6店舗に「岐阜県からのお知らせ」ボードを設置。

店舗での「自助実践200万人運動」実施

- ・平成22年12月11日にイオン大垣SCにて、同年12月12日にマックスバリュ養老店にてキャンペーン活動を実施。

ぎふ清流国体、ぎふ清流大会へ向けた気運盛り上げへの協力

- ・両大会オフィシャルスポンサーとして、広報事業等へイオンリテール(株)が協賛。平成22年12月20日に知事から中部カンパニー支社長へ協賛金を贈呈。
- ・県内イオン店舗にミナモ募金箱を設置。
- ・イオンとの共同開発による「ぎふ清流国体応援弁当」を23年5月よりの販売開始。

「フードアルチザン・プロジェクト」の展開

- ・県内の優れた食文化を商品化し、イオンの販売網を活用して全国に発信する「フードアルチザン（食の匠）・プロジェクト」を協働展開。
- ・県内でのプロジェクト実施地域（団体）の選定にあたり、コンテスト「ぎふ伝統食文化グランプリ」を実施することとしており、参加希望団体（地域）を募集中。

（３）イオンの概要

<イオン株式会社>

- ・設 立：1926年（大正15年）9月
- ・資本金：1,990億54百万円
- ・本 社：千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
- ・代 表：代表執行役社長 岡田元也

<岐阜県内の主な店舗>

- ・イオンSC：イオン大垣SC、イオン各務原SC
- ・イオン：大垣店、各務原店、岐阜店、関店、美濃店、柳津店
- ・マックスバリュ：大垣東店、各務原店、岐南店、岐阜池田店、垂井店、
養老店、輪之内店
- ・メガマート：岐阜池田店、養老店、輪之内店